



たまねぎ 夏 砺波市・南砺市

10月頃に苗を植え、翌年5月下旬から6月末にかけて収穫されます。冬の雪の下で育つため、独特の甘みが生まれます。作付け面積の拡大や栽培技術の向上を図り、雪たまねぎのブランドで全国有数のたまねぎ産地を目指しています。



キャベツ 春 秋 射水市

県内ではおもに水田を利用して栽培され、春だけでなく、初夏や秋の年3回収穫されています。雪の下で冬を越す春キャベツは、甘さとやわらかさが特徴です。ビタミンUが含まれており胃腸の働きを助けます。



はくさい 秋 魚津市

8月下旬に苗を植えて、10月から11月にかけて収穫されます。みずみずしく甘み強いのが特徴で、鍋料理はもちろん、漬物にも最適です。



さつまいも 秋 冬 魚津市

山々に囲まれた自然豊かな中山間地の肥沃な黒ボク土で栽培されており、甘みが強くホクホクとした食感が特徴です。



しいたけ 春 夏 秋 富山市

徹底した管理の下で栽培を行っています。自然の状態に近い環境を保つよう努力し、朝と夜に収穫し一番良い状態で摘みとることを大切にしています。



トマト 夏 富山市

県内ではハウスを利用した加温・雨除けにより、半促成栽培がおこなわれ、露地栽培よりも早く5月～7月まで収穫されます。他県産は赤くなる前に収穫しますが、富山産はハウスである程度色付けて収穫するため、甘みが濃いです。



枝豆 夏 射水市

大豆栽培のノウハウを活用し、平成17年から、枝豆の作付け面積を増やしてきました。黒豆「たんころう」は甘みが強くコクがあります。



カリフラワー 秋 冬 入善町

入善町でカリフラワーの露地栽培に取り組んでいる生産者グループ「ロジケン(露地野菜研究会)」が生産量を増やし、県内だけではなく愛知県などにも出荷しています。



にんじん 秋 富山市・黒部市・入善町

県全域での生産拡大に取り組んでいます。富山県では、全国的にも珍しく水田で栽培しており、にんじんのオレンジ色が鮮やかで表面につやがあるのが特徴です。



こまつな 通年 富山市・魚津市・射水市

県内各地で栽培が盛んで1年を通してハウスで生産し、県内共通の袋で出荷されています。生産者全員がエコファーマーを取得し、環境に優しい農業に取り組んでいます。



にら 春 夏 秋 富山市・砺波市・南砺市

有機質肥料を使って栽培される「アルギットにら」は、葉先までハリがあり、色鮮やかで艶やか、シャキッとした触感で甘みが強いのが特徴です。



かぶ 秋 冬 富山市・魚津市
富山市神明地区や魚津市などで、「中小かぶ」として生産しています。10月から2月頃まで県内の市場に葉付きで出荷されます。甘みがありみずみずしいと評判です。



ねぎ 春 秋 県全域
富山県内で生産される野菜の中で、各地で幅広く作られている品目が白ねぎです。県内ほとんどの農協で水田転作作物として生産・出荷されています。「富山しろねぎ」という商品名で、県内はもちろんのこと、岐阜や名古屋など県外市場へも多く出荷されています。

県産食材を使った学校給食で、子どもも農家も笑顔に！

富山の野菜旬のカレンダー

富山県農林水産企画課・富山中央青果株式会社



さといも 秋 冬 県全域
県全域で栽培されていますが、その中でも南砺市は歴史が古く、1660年頃にさといも栽培の記録が残っています。上市さといもは、水はけが良く、有機物を多く含んだ「黒ボク土」という土壌で栽培され、粘り・甘味が強いのが特徴です。



だいこん 初夏 秋 魚津市
魚津市内で作られる「新川だいこん」は「ひげ根」をほとんど伸ばさないため、表面のくぼみがなく、つるつるの白い根を真すぐに伸ばします。キメの細かいだいこんとして人気があります。

野菜提供：富山中央青果 / 写真提供：北日本新聞社



「とやま県産の野菜が学校給食に届くまで」
ベジータブル博士が県産野菜の生産、流通などの学校給食における地産地消を紹介します。

富山県公式 YouTube チャンネルで公開中

